

## 社会保障充実

これで共同を

札幌市

(看護師 37歳)

先日、生活と健康を守る会の方と話す機会がありました。

生活保護は生活困窮者を救う最後のセーフティネットであり、憲法25条で保障された健康で文化的な最低限度の生活を送るためのものであることです。そして、受給者がもらい過ぎなのではなく、生活保護基準以下の人が大勢いることが重大な憲法違反であり、日本の生活保護の捕捉率は世界でも有数の低さであることを学びました。

自分にも偏見があったことに気づき、病気などで働けなくなった時に命と生活を守ってくれる社会保障制度は決して一部の人のものではなく、国民の大切な権利だと知りました。

年金や最低賃金以下の給料で生活している人も、生活保護でバッシングされている人も、一生懸命働いているのに暮らしがよくなならない人も、対立するのではなく、憲法で保障された生存権をよりどころに「社会保障をもっと充実させよう」という一点で共同できるのではないかと思いました。また、そうでなければならぬと感じました。